



Japan Mobility Show

ジャパンモビリティショー2025
Startup Future Factory 参加ガイド



一般社団法人日本自動車工業会
JAPAN MOBILITY SHOW 事務局



JAPAN MOBILITY SHOW について

1954 東京・日比谷公園で第1回「全日本自動車ショー」として開催。当時は乗用車よりもトラックやバスなどの商用車であり、また自動車一般家庭に普及しておらず、自動車の展示が珍しかったため、多くの来場者を集めた。

1955 第2回開催

1956 第3回開催

1957 第4回開催
「PRセンター」にて自動車デザインを取り上げ、「自動車なんでも相談室」を開設、宣伝の場から商談の場へと進化を遂げた年であった。

1958 第5回開催

1959 第6回開催

1954~
歴史の始まり

1960~

1970 第17回開催。1954年から毎年開催される。はじめて輸入車が本格的に参加。
・インターナショナルショーとしてデビューをした。

1964 第11回開催
これまでの「全日本自動車ショー」を「東京モーターショー」に改める。
東京オリンピック開催を契機に、国内のインフラ産業の発展が加速し多様な車両が紹介されるようになる。

1963 第10回開催

1962 第9回開催

1961 第8回開催

1960 第7回開催

1971 第18回開催

1972 第19回開催

1973 第20回開催
記念すべき20回開催と共に2年に1回のイベントへと変化した。

1975 第21回開催

1977 第22回開催

1979 第23回開催
1970年代には日本車が世界市場で急速に認知され始め、東京モーターショーも国際的なイベントとして注目されるようになった。日本の自動車メーカーは省エネ技術や排ガス規制に対応したエコカー技術に注力し燃費向上技術が展示。

1970~
国際的な発展

未来的なコンセプトカー

1980~

1989 第28回開催

平成へと年号が変わったこの年、東京モーターショーは第6回以来、30年来的開催地、晴海から千代田・幕張メッセへと会場を移した。同施設のこけら落としイベントとなった第28回ショーのテーマは「自由走。ハートが地球を刺激する」。

1987 第27回開催

1985 第26回開催

1983 第25回開催

1981 第24回開催

1991 第29回開催

「発見、新関係。人・くるま・地球。」がテーマ。来場者数は東京モーターショー史上はじめて200万人を突破したが、15日間への期間変更や開場時間の延長により、来場者そのものの分散化が図られた。課題を克服しつつあった電気自動車も注目された。

1993 第30回開催

1995 第31回開催

1997 第32回開催

1999 第33回開催

1990年代になると東京モーターショーは環境問題やエネルギー効率を大きなテーマとなり、ハイブリッドカーや電気自動車などの環境対応車両が注目を浴びた。1997年にはトヨタがプリウスを発表し、ハイブリッドカーの実用化が進むと同時に、多くの自動車メーカーがエコカー市場に参入しました。

1990~

近代化と環境対応

IT技術の進化
2000~

2009 第41回開催

2007 第40回開催

「新・総合ショー」として、10年ぶりに開催形態を変更し開催され、エンターテインメント性を高めた参加・体験型の特別イベントを充実させ、来場者に「クルマの夢、楽しさ、素晴らしさ」を体感いただいた。

2005 第39回開催 1954年の第1回全日本自動車ショーから50年という節目の年に開催された第39回

2004 第38回開催

2003 第37回開催

2002 第36回開催

2001 第35回開催

2000 第34回開催

2011 第42回開催

これまで行っていた幕張から東京ビックサイトへ開催場所を変更。

2013 第43回開催

2015 第44回開催

2017 第45回開催

2019 第46回開催

自動運転やAIの活用など、次世代の技術に焦点を当てた展示が増え、この時期、電動化とともにカーシェアリングやMaaS (Mobility as a Service) の概念も注目され、自動車産業の枠を超えたモビリティの未来が議論されるようになりました。

2010~

デジタル革命と自動運転

Japan Mobility Show
Bizweek

企業同士をマッチングさせて事業共創を加速させる、ビジネスイベント

Meef-up Box



2024

未来を創る、仲間づくりの場

2023 Japan Mobility Show

東京モーターショーから
JAPAN MOBILITY SHOWへ

ワクワクする未来を、創出していくための
『共創プラットフォーム』として始動



2025

第48回目となる2025年ショーテーマ
「ワクワクする未来を、探しにいこう！」

Japan
Mobility
Show

第1回:1954年 - 第46回:2019年
TOKYO MOTOR SHOW

『自動車の総合展示会』



東京モーターショー
のDNAを引き継ぎ

Since:2023年

Japan Mobility Show

ワクワクする未来を、創出していくための

『共創プラットフォーム』

モビリティ社会に向けて
未来の共創

豊かで夢のある
モビリティ社会へ

モビリティ
の魅力訴求

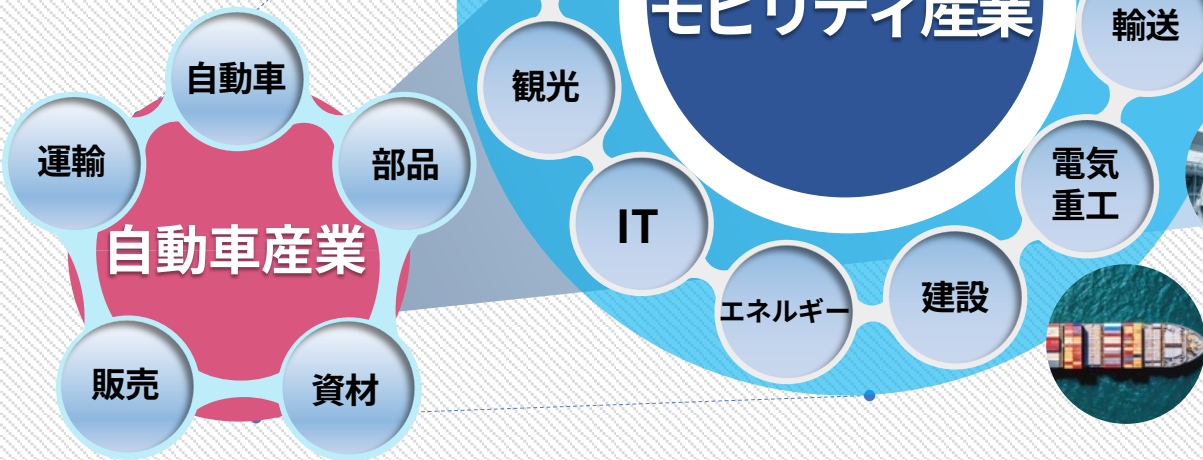
産業・機能・体験
多角的な魅力訴求

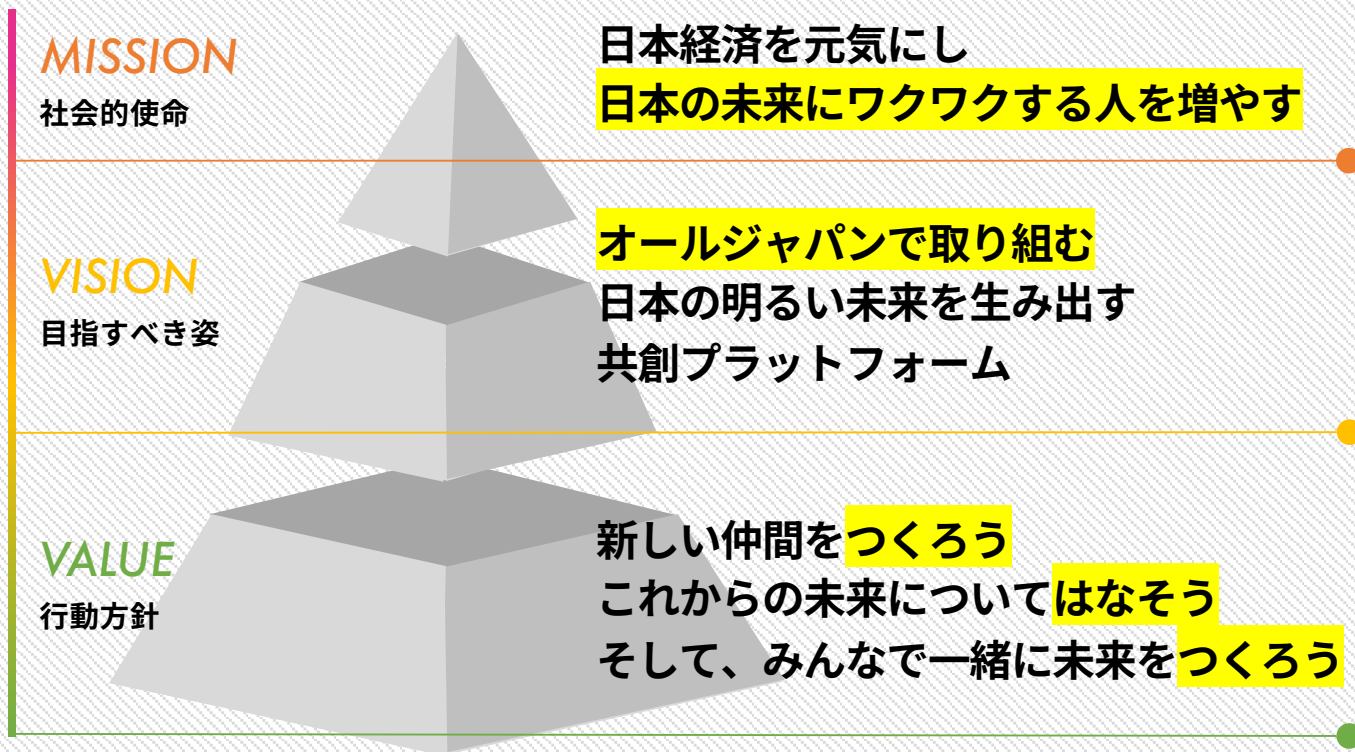
新しい仲間

スタートアップ
他産業の巻き込み

モビリティ産業 の拡張

オールジャパンで
モビリティ産業を成長させていく





ビジネスイベント

Japan Mobility Show Bizweek

モビリティ社会構築に向けて
企業同士の連携強化を図るコミュニティイベント

『未来を創る、仲間づくりの場』

ターゲット

- 2B：モビリティ関連事業社
- 2C：モビリティ事業者/モビリティ情報をいち早く感じたい人

交互に実施

ショーケースイベント

Japan Mobility Show

ビジネスイベントでの企業同士の繋がり継続と
生活者へモビリティの未来を伝えるショーイベント

『未来のワクワクを、探しにいく場』

ターゲット

- 2C：未来のモビリティシーンをいち早く感じたい人
- 2B：これから仲間になる新たなモビリティ関連企業

ビジネスマッチングプラットフォーム

Meet-up Box



ビジネス商談

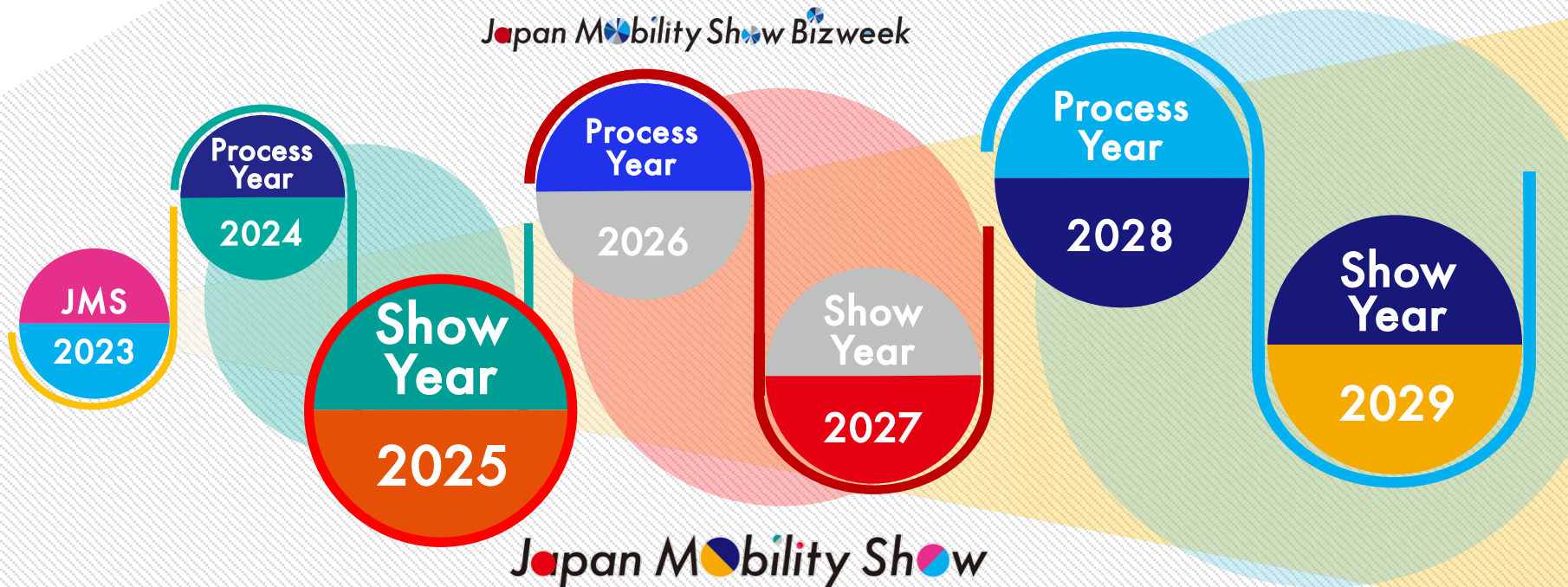


ビジネス共創

未来のモビリティ社会構築に向けて実態あるビジネス共創を推進する企業同志の集まる場

2年をワンパッケージにした継続的な活動として毎年開催

Japan Mobility Show Bizweek



Japan Mobility Show



JAPAN MOBILITY SHOW 2023 / 2024 実績

Tokyo Future Tour

(モビリティの未来実演ショー)



モータースポーツ

(屋内・屋外)



e-Motor sports



Personal Mobility Ride

(屋外)



Japan Future Session

(トークショー)



お笑い
LIVE

音楽
LIVE

ラジオ
公開放送

トミカ

TAKARA
TOMY

キッズニア

KidZania



Startup Future Factory

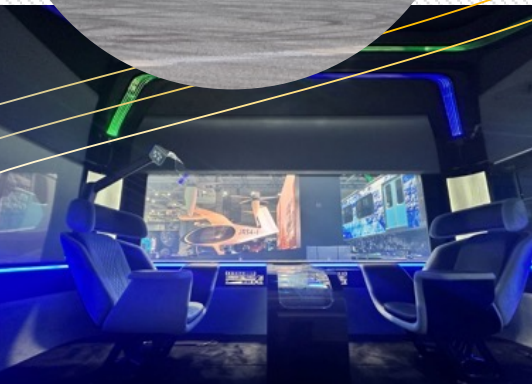
(スタートアップ企業)



2023年の様子はこちら：<https://2023.japan-mobility-show.com/gallery/>



2023年の様子はこちら：<https://2023.japan-mobility-show.com/gallery/>



Japan Mobility Show
Bizweek 2024

事業会社とスタートアップによる
ブース出展
Find New Business Partners



車両展示



ビジネスマッチング
Promotion of corporate
co-creation



Meet-up Box

スムーズで効率的な
商談が可能に！



未来モビリティ会議
Discussions for Our Future



Future Mobility Forum

Japan Mobility Show Bizweek



Japan Mobility Show

2023年実績

- 会期：23年10月26日(木)-11月5日(日)
- 会場：東京ビッグサイト

参加企業数

約**500**社
過去最高を記録

スタートアップ

約100社

主催者企画の参加

約200社

来場者数

約**111**万人

来場者属性

29歳以下男女 39.1% 就労比率 77.5% 新規来場率 22.4% 東京23区居住 36.6% 家族/友人 74.2% 外国籍 4.2%

メディア露出

約**23,000**件

各メディア露出内訳

TV番組：約300件
新聞：約1700件
WEB：約21,000件

来場プレス数

約10,000人

経済効果

約**1,000**億円

マッチング件数

430件

Japan Mobility Show Bizweek

2024年実績

- 会期：24年10月15日(火)-10月18日(金)
- 会場：幕張メッセ CEATECと併載

参加企業数

203社

事業会社

58社

スタートアップ

145社

重工業・建設業・電気・IT・情報・通信産業などの新規企業も参加

マッチング件数

約**900**件

事後アンケートでの推計値
約**2,000**件

商談件数

約**400**件

事後アンケートでの推計値
約**1,700**件

業務連携

約**100**件ほど発生中（アンケートでの推計値）

メディア露出

約**1,400**件

Meet-up Box

登録企業数

約**1,000**社

事業会社：450社
スタートアップ：300社
その他：250社・団体

登録事業数

約**2,000**件

※24年11月時点

2023年：約23,000件

メディア露出

2024年：約1,400件

Japan Mobility Show

Japan Mobility Show Bizweek



NHK NEWS



NHK_首都圏NEWS



NHK_首都圏ネットワーク



TBS_Nスタ



日本テレビ_every



日本テレビ_DayDay



NHK_おはよう日本



TX_WBX TV



CX_Live news α



補足)

2023年：報道・情報番組・エンタメ関連など様々な切り口で取り上げられた

2024年：報道・経済番組を中心に取り上げられた



JAPAN MOBILITY SHOW 2025

開催概要

開催期間：2025年10月29日(水) — 11月9日(日)

開催会場：東京ビッグサイト（東・西・南展示棟）

※大規模修繕工事対象ホール（東1・3ホール）を除く全館利用



日程	曜日	開催時間	名称
2025/10/29	(水)	8:00 - 18:00	プレスデー
2025/10/30	(木)	8:00 - 13:00	
		13:30 - 18:00	オフィシャルデー (オープニングセレモニー等招待者)
2025/10/31	(金)	9:00 - 19:00	特別招待日／ 障がい者手帳をお持ちの方の特別見学日
		13:30 - 19:00	
2025/11/1 2025/11/9	(土) (日)	平日 : 10:00 - 19:00 土曜／祝日 : 9:00 - 19:00 日曜 : 9:00 - 18:00	一般公開日 (9:00 ～ 10:00は、入場可能な特別チケットをお持ちの方のみ入場可能)

The title "Japan Mobility Show" is centered in the image. The word "Japan" is in a bold, black, sans-serif font. "Mobility" and "Show" are in a larger, stylized, black font with a slight shadow effect. The background of the title area is a collage of images related to mobility, including a city skyline, a car on a road, and a child playing with a robot.

ワクワクする未来を、探しにいこう！

様々なモビリティ関連企業のブース出展に加え、
多くの来場者を楽しんでいただける、3本の柱を中心にした多面的なプログラムを企画中

1 「未来のワクワク」醸成プログラム

#FUTURE

- 役割 -
「モビリティの**未来の姿**」

- 目的 -

未来におけるモビリティの活躍する姿を通して、
日本の未来にワクワクを感じてもらい
JMS全体や世の中への共創機運の醸成

2 「モビリティカルチャー」共感プログラム

#CULTURE

- 役割 -
「**モビリティそのもの**」

- 目的 -

四輪・二輪をはじめとした様々なモビリティ
の魅力に焦点をあて、モビリティ自体が
もたらしてくれる価値への共感

3 「ビジネス共創」推進プログラム

#CREATION

- 役割 -
「モビリティの**ビジネス**」

- 目的 -

日本経済を明るい方向へ向けていくために
モビリティ産業発展に資する仲間づくりと
企業間の共創を推進

お子様やご家族と一緒に楽しんでいただけるモビリティの総合イベント

#FUTURE



#CULTURE



#CREATION



#KIDS



#FOOD



#EXHIBITION





従来の部門に加えて、IT・情報・通信・公共交通・インフラ
などの出展部門「モビリティ関連部門」を新設



参加メニューの紹介

より多くの企業・団体の皆様と一緒に未来を創るきっかけとして、
また、ご来場の皆様とご参加の企業・団体の皆様がより強くつながるために、
会場全体をつなぐ役割として、多面的な主催者プログラムを実施いたします。

#FUTURE

**Tokyo
Future
Tour 2** (仮)

#CULTURE

**Mobility
Culture
Area** (仮)

#CREATION

**Startup
Future
Factory**

#KIDS

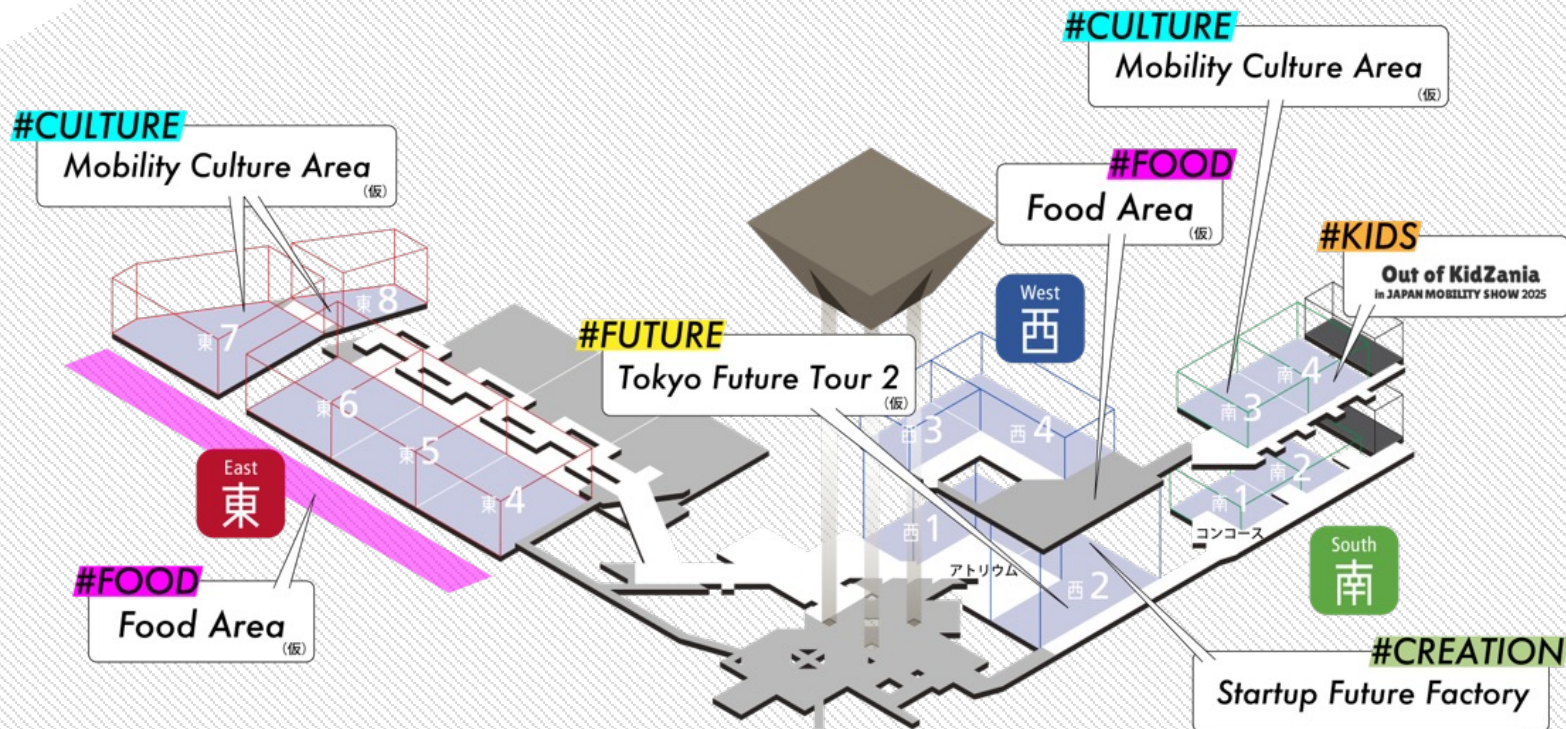
Out of KidZania
in JAPAN MOBILITY SHOW 2025

#FOOD

Food Area (仮)

会場

各主催者プログラム実施エリア（予定）



Startup Future Factory

『ワクワクする未来』を創り出す

「豊かで夢のあるモビリティ社会をつくりたい」

この想いを推し進めるべく、2025年も、

未来を担うスタートアップ企業が一堂に会し、

事業会社などの企業同士のビジネス共創のきっかけを創出します。

募集① ブース出展

社会課題の解決や、環境への対応、付加価値創造など、未来のモビリティ社会の構築に向けて、
重要になる4つのカテゴリを設けて、次世代を担うスタートアップ企業を募集します。
2025年より有償化、よりビジネス共創意欲の高いプレイヤーが集まるエリアを目指します。

出展料：

330,000 円 (税込) / 小間

概要

- 出展日程：2025年10月29日(水)-11月9日(日)のうち指定の連続した4日間
- 出展枠：100枠～最大150枠※50枠ずつ4日間出展×3回入替え想定
- 出展料：330,000円(税込) / 小間



- 小間サイズ：間口 約3m×奥行 約3m ×高さ 2.7m (約9.0㎡)
- 募集カテゴリ：4つのカテゴリを設定 ※次頁参照



Meet-up Box
ビジネスマッチング施策も継続！

募集カテゴリ

様々な技術やサービスが、生活者にとって「どんなことをもたらしてくれるのか」生活者視点でよりわかりやすく表現した、以下の4つのカテゴリで募集します。



移動がもっとスイスイ・ワクワク



地球のことを考えてつくり方から新しく



暮らす・働くを支える仕組みをアップデート



そんなことまで！？拡がるモビリティ

募集カテゴリ



移動がもっとスイスイ・ワクワク

電気自動車や自動運転技術、充電インフラの普及を通じて、
誰もが快適に移動できる社会を実現し、移動の自由度をさらに広げていく



KEYWORD

#電動化 (EV・PHEV・FCEVなど)
#新たな移動手段 (電動二輪、自動配送ロボットなど)
#自動運転 (レベル4・MaaSなど)
#シェアリングモビリティ (カーシェア・ライドシェアなど)
#充電インフラ整備 (V2X・ワイヤレス充電など)
#ラストワンマイル交通 (Eスクーター・小型EVなど)

#メンテナンスの高度化 (中古査定・整備士マッチングなど)
#都市交通のDX (AI信号・スマート交差点など)
#移動のバリアフリー (高齢者・障がい者MaaSなど)
#公共交通の最適化 (データ連携・オンデマンド交通など)
#スマートパーキング (自動精算・EV充電対応など)
#地域密着型モビリティ (観光MaaS・自立走行運転車両:AMVなど)

募集カテゴリ

2 地球のことを考えてつくり方から新しく

半導体や電池などの重要部品の安定供給を確保、リサイクル技術やサーキュラーエコノミーを推進し、日本のモノづくりを支え、持続可能な社会と強い産業基盤を築いていく



KEYWORD

- #高度なものづくり（3Dプリンタ・CADなど）
- #持続可能なモビリティ（環境配慮型素材・軽量化技術など）
- #電池リサイクル（リユース・サーキュラーエコノミーなど）
- #次世代半導体（低消費電力・国産化など）
- #資源循環（3R・CO2回収・SAFなど）
- #脱炭素、カーボンニュートラル（CO2可視化、非化石証書）
- #地産地消のモノづくり（地域経済振興・分散生産など）

- #スマートファクトリー（自動化・省人化・エッジAI活用など）
- #水素エネルギー活用（FCV・水素ステーションなど）
- #グリーンインフラの推進（ゼロエミッション工場など）
- #バイオガス発電（メタン発酵・小型プラントなど）
- #再生可能エネルギー（太陽光発電、地熱発電など）
- #エネルギーマネジメントシステム（余剰電力、蓄電/蓄熱など）

募集カテゴリ

3 暮らす・働くを支える仕組みをアップデート

AIやデータ活用を通じて、交通・物流・環境問題を解決し、自動運転やスマートシティの発展を促進。
安全で持続可能な社会インフラの実現、働き方改革を進め、より効率的な社会を築く。



KEYWORD

#スマートシティ（都市OS・データ連携など）

#MaaSの進化（オンデマンド交通・サブスク型移動など）

#自動運転の普及（ロボタクシー・AI運行管理など）

#物流DX（自動配送・ドローン物流など）

#都市交通の最適化（AI信号・渋滞削減など）

#防災（非常用電源・災害時支援など）

#AI・生成AIの活用（自動運転・ルート最適化など）

#IoT/センサー活用（リアルタイム交通監視・安全運転支援など）

#環境負荷の低減（カーボンフリー物流・電動トラックなど）

#働き方改革（リモートワーク対応・移動時間の有効活用など）

#労働力不足解消・労働生産性向上（人員の最適化・リスクリングなど）

募集カテゴリ

4

そんなことまで！？拡がるモビリティ

車内エンタメの進化やヘルスケア機能の充実により、より楽しく、より快適で、
移動そのものが豊かな体験へと変わる未来を創出・移動の価値を向上させていく



KEYWORD

#パーソナライズドモビリティ（SDV・カスタマイズUIなど）

#車内エンタメの進化（5G・メタバースなど）

#快適な移動空間（静音設計・自動車内リビングなど）

#ヘルスケア（健康管理・リラックス機能など）

#シームレスな移動体験（スマートキー・顔認証など）

#モビリティサブスク（オンデマンドカー・定額サービスなど）

#観光MaaSの進化（地域特化型・移動型ホテルなど）

#デジタルツインの活用（リアルタイム交通予測など）

#IoT・センサーの活用（生体認証・快適温度調整など）

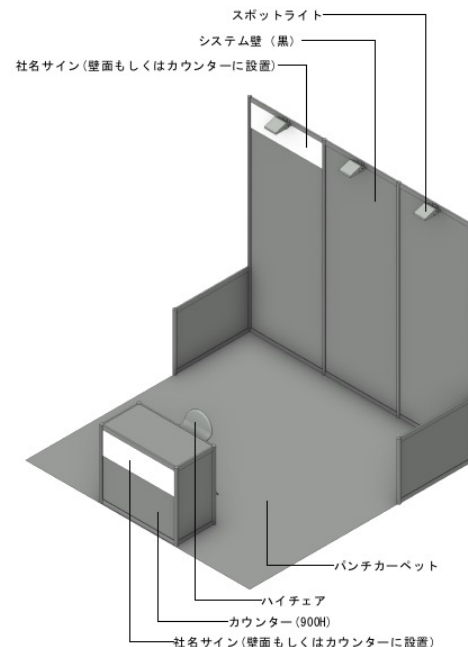
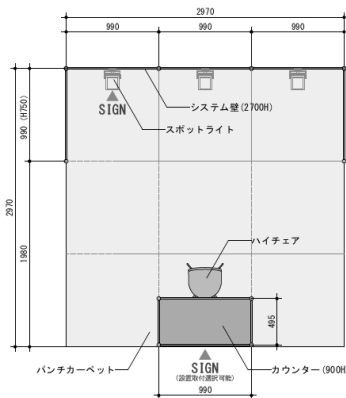
#生成AIの活用（カスタム運転アシスト・音声アシスタントなど）

出展ブースイメージ

間口 約3m×奥行 約3m×高さ 2.7m (約9m²)

● 基本パッケージに含まれる備品

備品	数量	備考
システムオクタノルム	1式	出展ブース基礎施工
社名サイン	2枚	企業名 出展ブースタイトル (※文字のみ)
パンチカーペット	1式	
ハイチェア	2脚	高さ700mm程度
カウンター	1台	
電源	1口	1.5kw 平行コンセント
ネット環境	1式	全出展者共有のWi-Fi回線
照明	1式	出展ブース上部に設置



※調整中につきブースデザインが変更になる場合があります。

※基本パッケージ以外の備品や装飾は、オプションプラン (有料) をご用意。詳細については、出展決定後に別途ご案内いたします。

※追加装飾や展示物には制限があります。

※ブース位置は事務局で決定いたします。

出展日程について

計12日間の会期を3タームにわけた、1ターム（4日間）いずれかにご出展いただきます。

10月			11月								
29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9
Wed	Thu	Fri	Sat	Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun
プレスデー (8:00-18:00)	プレスデー (8:00-13:00) オフィシャルデー (13:30-19:00)	特別招待日 (9:00-19:00) 一般公開日 (13:30-19:00)	一般公開 (平日10:00-19:00／土曜・祝日9:00-19:00／日曜9:00-18:00)								
A 枠			B 枠			C 枠					
2025年10月29日(水)～11月1日(土)			2025年11月2日(日)～11月5日(水)			2025年11月6日(木)～11月9日(日)					
メディア露出が期待できるプレスデーを含む4日間 一方で、プレスデー・オフィシャルデーの来場者数・接触者数は少ない			一般消費者の来場が多く見込まれる3連休およびビジネス層の来場が期待できる平日の4日間			前回のJapanMobilityShow2023では単日来場者数が一番多かった最終土日を含む4日間					

※搬入およびブース設営は各枠の前日（A枠：10月28日、B枠：11月1日、C枠：11月5日）、搬出は各枠最終日の閉場後となります。B枠・C枠の搬入は、前枠の搬出完了後となるため夜間での作業を予定しております。

出展で期待できる7つの効果

① ネットワーキング

業界の専門家や投資家、他のスタートアップとのつながる機会

② ブランディング

自社のブランドを広め、認知度を向上させるチャンス

③ フィードバック収集

来場者や専門家から直接フィードバックを得て、製品やサービスの改善点を発見

④ 投資の機会

投資家との接触が増える、資金調達のチャンス

⑤ 市場調査

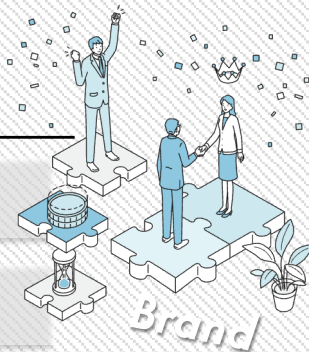
他のスタートアップや競合の動向・市場のトレンドやニーズの把握

⑥ パートナリシップ

ビジネス共創の可能性を探るための関係構築

⑦ 露出機会

メディア露出によるPRや販促効果の機会



規 程

参加に伴う注意事項 ※お申込みいただく前に、必ずご確認ください。

出展条件

- JAPAN MOBILITY SHOW 2025（以下「本ショー」といいます。）開催期間（搬入日・搬出日含む）を通して出展枠ごとの4日間に展示可能なモノ・サービスであること。指定日時以外の設営、撤去は出来かねます。
- 出展するモノ・サービスの概要がわかる資料（企画書・説明書・該当写真等）が提出できるもの。
- 出展申込および申請手続き・開催期間中の来場者対応において、日本語での対応が可能なこと。
- 出展物は、出展者自身が製造した製品等に限定します。但し、第三者との共同事業・協業による製品やサービス等、及び一般社団法人 日本自動車工業会（以下「事務局」といいます。）が認めた場合はこの限りではありません。
- 出展物は原則として日本の国内法に照らし、これに触れる場合は出展することができません。但し、参考出展物を除きます。
- 来場者に分かりやすいテーマごとにエリアを分け、出展して頂きます。
- 破産・民事再生法または会社更生法の手続き中である者、または金融機関から当座取引停止処分を受けている者の出展は出来ません。また、事務局が上記に等しいと認めた場合も同様とします。
- 暴力団、暴力団員、暴力団関係者、暴力団関係企業、総会屋等（総称して「反社会的勢力」という。）の出展は出来ません。
- 代理者（事務局の認めた団体を含む）を通して申込み場合には、事務局は代理者を通じて連絡を行ない、代理者は全てに對し責任を負うものとします。

審 査

- 出展は、出展内容を申込みのうえ、事務局にて出展調整・審査後に確定となります。審査については以下の観点を中心に実施し、通過した企業にのみ出展確定連絡をいたします。また所定の枠が埋まり次第、募集締切といたします。
 - ・ 開催趣旨と募集テーマ（解決したい社会課題等）との親和性 / 共創 / 協業の可能性を拡げる出展内容であるか
 - ・ 製品 / サービスのサイズ・重量における会場制限に該当する出展内容であるか
 - ・ スタートアップによる展示が相応しいと思われる出展内容であるか
- 審査状況や審査内容の詳細に関するお問い合わせ、審査結果に対する異議申し立てには、一切お答え出来ません。

規 程

開催中止について

- 天災、騒乱、内乱、公権力による命令処分、ストライキ、感染症（以下、総称して「天災地変等」といいます。）、または十分な出展申込がないなどのやむを得ない事由があるときは、ショーの開催を中止することがあります。ショー会期前に中止を決定した場合に限り、事務局は弁済すべき必要経費を差引いた後、残った金額については支払済の出展料の割合に応じて出展者に返還します。但し、中止によって出展者に損害が生じた場合であっても、その名目の如何を問わず、事務局は一切補償しません。

キャンセルポリシー

- 出展決定通知後の出展キャンセルはお受け致しかねます。やむを得ず出展を取りやめる場合は出展料の100%をキャンセル料としてお支払いいただきます。
- 入金後の返金対応は致しません。主催者都合による中止の場合については協議により決定いたします。

個人情報の取り扱い

- 本ショーの主催者である、事務局は、個人情報取得に際し、適法かつ公正な手段によって行なうものとします。
- 出展情報、及び各種申請等で取得した個人情報は、事務局主催の本ショーの運営及び各種業務を円滑に行なう目的に限定し、事務局及び事務局関係者（業務委託先や協賛企業含む）が共同使用致します。また業務委託先、協賛企業には個人情報を厳密に管理するよう義務付けます。

管理責任 / 損害責任 / 保険

- 出展者はブースの管理責任者を事務局に事前申請することとし、管理責任者は、対象期間中、自社ブースで行われる作業や運営に立ち合ってください。
- 展示物等の運搬に関する全ての工程（貴社～展示会場）の輸送保険、及び会期中の展示物等に関する保険につきまして、出展者様のご負担となります。
- 本ショー事務局が加入するイベント保険は賠償責任保険と傷害保険となり、出展に関わるものではございませんので、予めご了承ください。その為、搬入搬出期間を含めた期間中、火災・事件・事故・盗難・損傷等のあらゆる損害について、事務局はその責任を一切負いません。出展者は傷害・損害保険への加入など必要な予防措置を講じて下さい。
- 万一事故が発生した場合は、直ちに事務局に届出と共に、出展者の責任において解決しなければなりません。
- 展示施設は地震発生時でも、転倒、落下、移動等により来場者の避難及び消防活動等の初動措置の障害とならないよう、安全な施工を行ない、また確認をして下さい。

規 程

運営にあたって

- 展示・実演に関わる全ての行為は自社ブース内で行うこととします。来場者が通路に滞留しないよう対策を講じてください。
- ブースの外側の空間および通路における来場者に対する強引なブースへの誘導やデモンストレーションは禁止します。
また極端に執拗な製品説明なども迷惑行為と見なし、禁止する場合があります。
- 土・休日等の混雑時は、来場者動線の確保・一方通行誘導等の雑踏対策を講じる運営を行って下さい。
- 音量等発生する場合は、部門出展規程に準じ、77dB (A) 以下として下さい。
- 説明、体験をいただいた来場者に対してのカタログ・パンフレット（DVD等を含む）の配布は可とします。それ以外の物品を配布する場合は、一人当たり最高で市価500円（消費税込）以内の物品としますが、手提袋※、風船は配布禁止とします。物品によっては、事務局より配布の中止を申し入れる場合があります。
※手提袋の制限：来場者への手提袋の配布は一切禁止とします。但し、プレスデーにおける取材用資料の配布に使用する手提袋の配布については、制限はありません。
- 事務局による施工を除いて、出展者の行為に属する費用はすべて出展者の負担とします。（出展物の搬入・搬出、展示、実演、設営・撤去、廃棄物処理、宿泊費、交通費、飲食費等）
- 展示ホール内では、エンジンを始動することはできません。
- ブース内において、自社が取り扱う製品の展示や商品・サービスのPRをすることなく、来場者の個人情報の収集を主目的として行う出展は禁止します。また、すべての出展者にも個人情報保護法の要件を満たした行為や対応をお願いします。

規 程

留意事項

- 出展者は、相手が他の出展者あるいは第三者であることを問わず、出展ブースの一部あるいは全部を転貸、売買、譲渡、交換することはできません。
- 製品展示に係る什器は、出展者様に手配をお願いいたします。※電気、給排水、ネット回線等、必要場合は、あらかじめ申請をお願いいたします。
- 出展者及び代理者は、消防設備（煙感知器・消火設備）、電気使用料、水道使用料、通信設備など、事務局に支払うべき経費があるときは、指定期日までに日本円で精算しなければなりません。
- 出展物の販売契約は自由です。但し、即売は厳禁とします。また、売却済の表示をしたり、購入者の名前、販売数量等を表示したりすることも禁止します。
- 出展者に対し本ショーの広報協力を依頼する場合があります。その際は協力いただくようお願いいたします。
- 工業所有権に関する出願前出展物について、出展製品の公開・発表に際して「特許」、「実用新案」又は「商標」出願を検討する出展者においては、直接特許庁・総務課までお問い合わせください。
- 出展者和其他の出展者との間で生じた出展物または出展物に関する広告および知的財産権並びにブースの使用に関する紛争、その他すべての紛争は関係する出展者間で解決されるものとし、事務局は何らの責任も負わないものとします。
- 本イベント期間中に、法令違反等の社会通念上、出展製品とすることがふさわしくないと判断される場合等において、出展を取り消す場合がございます。
- 企業ロゴ、出展製品画像及び映像データのご提供をお願いする場合がございます。
- 出展する際、企業名や活動内容の一部を本ショー及び事務局の広報活動または、新聞、雑誌及びインターネット等の各種メディア等で公表させていただきます。また、報道関係者等からの取材にご協力をお願いすることがあります。
- イベントの内容は予告なく変更となる可能性がございます。
- 会期中、万が一ブースから離れる場合は来場者が持ち込み物に触れてケガ等が発生しないようにご注意ください。また盗難等の責任はお受けできません。

募集①ブース出展 今後の主なスケジュール

募集受付開始

2025年 4月10日(木)

オンライン説明会

2025年 4月23日(水)

募集メ切

2025年 5月25日(日)

書類審査を2025年5月26日(月)～6月下旬の日程で実施予定です。
審査にあたり、事務局からお申込内容の確認をさせていただく場合がございます。

出展決定通知

2025年 6月下旬

出展決定通知後の出展キャンセルはお受け致しかねます。P37キャンセルポリシーをご確認ください。

出展者説明会

2025年 6月下旬

ご請求書送付

2025年 7月中旬

お支払い期限

請求書送付日から21日以内を予定

申請書類等提出期限

2025年 8月下旬

会期本番

2025年10月29日(水)～

募集② ピッチコンテスト&アワード

今回は、成長ステージに応じた部門制（2部門）を導入し、
決勝進出枠も前回から倍増となる合計30社と、スケールアップしました。
革新的なアイデアと技術で未来を切り拓く、次世代のスタートアップ企業を募集します。

① シード/アーリー部門

事業アイデアは既に持っているが起業前、
または起業はしているが今後マネタイズ予定の企業

事前審査を通過した
15社

賞金総額 1,200万円
(グランプリ1,000万円/優秀社100万円×2社想定)

② ミドル/レイター部門

事業が単月黒字化し、継続成長する企業、
または事業成長が軌道に乗り、拡大路線へ進む企業

事前審査を通過した
15社

ネットワーキングプログラムでの
プレゼン機会の提供等

著名VCやモビリティ領域の専門家による厳選なる審査のもと、表彰企業を決定します。

参加対象

決勝進出枠

インセンティブ



JMS2023の2倍
合計30社

募集テーマ

以下の3つのテーマで開催（2部門共通）

事前審査を行い、JMSでの決勝ステージに出場できる企業を決定します。

1

for Mobility

～モビリティを支える。技術の進化、つながりの深化。～

2

with Mobility

～モビリティとともに。広がる体験、新たな仕組み。～

3

beyond Mobility

～モビリティを超えて。社会や世界の、可能性を創る。～

募集テーマ



for Mobility ～モビリティを支える。技術の進化、つながりの深化。 ～

現行モビリティ/モビリティ産業の更なる高度化/進化、サプライチェーンの強靱化など、
モビリティ産業の強化・拡張につながる



with Mobility ～モビリティとともに。拡がる体験、新たな仕組み。～

現行モビリティ/モビリティ産業の顧客網やアセット等を活用し、新たな付加価値を生み出す
サービスやプロダクトを展開し、**モビリティ産業隣接領域の強化・拡張**につながる



beyond Mobility ～モビリティを超えて。社会や世界の、可能性を創る。 ～

モビリティ産業の概念や社会構造を広げることに加えて、モビリティに限らない「社会全体」
で新しい付加価値を生み出すことで、**間接的にモビリティ領域の発展に寄与**する

応募要項

応募条件

- 登記された法人格を持つ、未上場企業および大学・研究機関
- 今回の募集テーマに合致する企業および大学・研究機関
- 予選ピッチ、決勝ピッチに参加可能な企業および大学・研究機関（日程TBD）
- 公序良俗に反する事業を行うなど、事務局が支援することが適さないと判断した企業ではないこと
- 「日本語」でのピッチが可能なこと

※ 交通費、宿泊費、輸送費等は自己負担となります

※ ピッチおよび質疑応答は「日本語」での実施を予定しております

各部門の参加区分

- シード/アーリー部門：法人設立～シリーズAまで
- ミドル/レイター部門：シリーズB以降（ただし、ピッチ本番まで未上場の企業であることが前提）

※ エントリー時に、貴社成長ステージ/シリーズに合わせてご参加を希望される部門を選択ください。

※ シリーズの定義は、株式会社ユーザベースが提供する「スピーダ スタートアップ情報リサーチ」における「INITIALシリーズ

（<https://initial.inc/articles/7oUK5qkbYvX4tLeU0VMnwM>）に準拠致します。ご希望される部門と貴社成長ステージに乖離があった場合、事務局よりコース変更のお願いをさせていただくことがあります。

募集②ピッチコンテスト&アワード 今後の主なスケジュール

① エントリー	② 1次審査（書類）	③ 2次審査（面談）	④ 予選ピッチ	⑤ 決勝ピッチ
4月10日(木) ～ 5月25日(日)×切	5月26日(月) ～ 6月11日(水)	6月12日(木) ～ 6月30日(月)	7月中旬	JMS2025会期中
指定の申込フォームより、企業情報・事業概要・連絡先等を入力 ※お申込み後に提出内容を修正したい場合は、申込み完了時に発行されるマイページから修正をお願いいたします。	提出いただいた書類を基に、事務局にて1次審査を実施し、一次通過企業を決定	提出書類では伝えきれなかった内容を、面談にて事務局に説明いただく 6月末を目途に審査の結果を通知、予選ピッチに登壇する企業60社を決定 ※任意、オンラインにて実施 ※2次審査を行わず、1次審査のみで予選ピッチをご案内させていただく場合がございます。	プレゼン＋質疑応答形式で、ピッチを実施@東京駅丸の内付近を予定 決勝ピッチに登壇する企業30社をその場で決定・発表	プレゼン＋質疑応答形式で、ピッチを実施@東京ビッグサイト 著名VCやモビリティ領域の専門家などによる審査のもと、グランプリ企業を選定 ※2025年10月29日(水)～11月9日(日)のうちのいずれか1日での実施を予定

全国の
スタートアップ

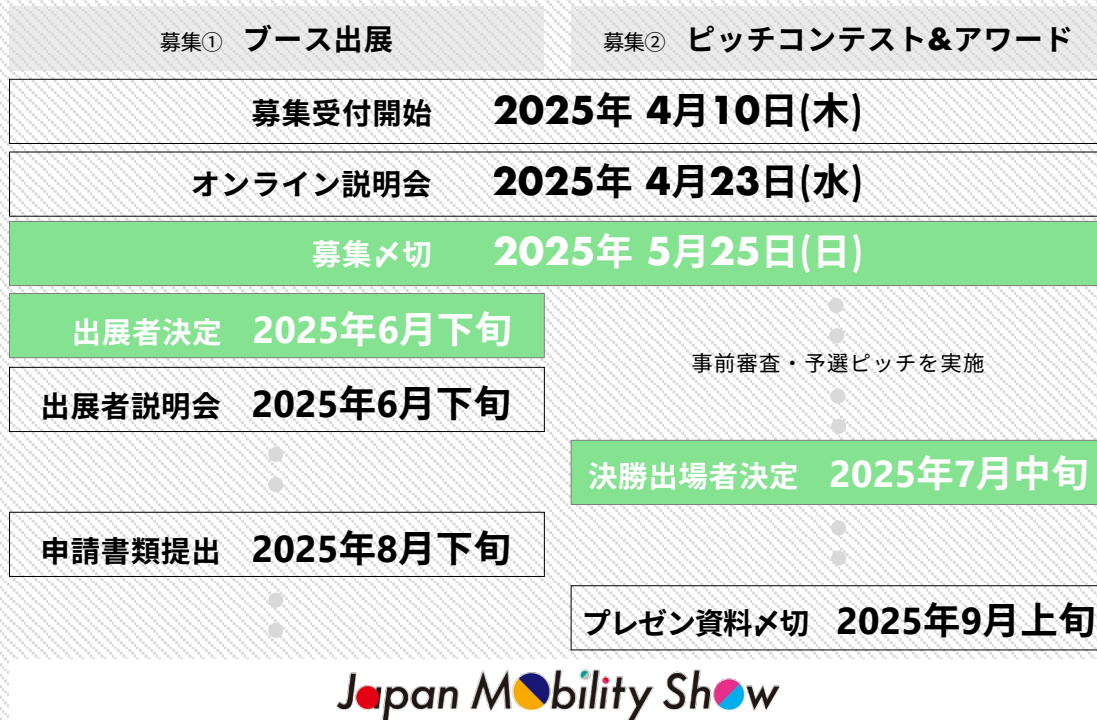
XXX社

60社

30社



全体スケジュール



Japan Mobility Show

Startup Future Factory

1

ブース出展

出展申込みは「Startup Future Factory 参加ガイド」の記載事項を了承の上、申込フォームにアクセスし、必要事項をご記入ください。

出展申込み



申込フォーム

出展申込みに関するお問い合わせ

**Startup Future Factory
ブース出展募集事務局**

SuFF_booth_entry@jms2025.com

※お問い合わせをいただいた日より5営業日以内にご連絡をさせていただきます。お問い合わせ内容によっては、回答にお時間を頂戴する可能性がございますので、予めご了承ください。

2

ピッチコンテスト & アワード

参加申込みは「Startup Future Factory 参加ガイド」の記載事項を了承の上、申込フォームにアクセスし、必要事項をご記入ください。

参加申込み



申込フォーム

参加申込みに関するお問い合わせ

**Startup Future Factory
ピッチコンテスト&アワード募集事務局**

SuFF_pitch@jms2025.com

※お問い合わせをいただいた日より5営業日以内にご連絡をさせていただきます。お問い合わせ内容によっては、回答にお時間を頂戴する可能性がございますので、予めご了承ください。